

国語解答用紙（全二枚）その一

注意 学部名と受験番号及び氏名を記入せよ。

華美	カヒ
立証	リツシヨウ
介在	カイザイ
史跡	シゼキ
畏怖	イブ

集計点

学部名

()学部

受 驗 番 号

1000

諸外国のようへ國民の大多数が同じ宗教を信仰することで得られる社会共通の規範下、特に佑仰する宗教がないと六割以上の人者が回答する日本社会では見出（難いが）、宗教的情緒を考慮せし世間体を尊重する傾向が強いため世間体が良い方向へ内面化され、他者や社会との関係の中において許容される範囲で行動しなくてはならぬ。

工ミニ二斤一シヨンを取る際、様々の物事を に共有すること。
概念の上に築かれたミニ二斤一シヨンの中 で、自分がと他者との関係性を常に意識と無視

内面が空虚であるため自己へ依りて過度に世間体を極め、世間体へ悪く内面化され傾向が強くなり、自己表現や自死につながり、他者を過剰に裁く攻撃性が發揮されたり。下る二と。

大前提として生命の維持価値を置いた上で、社会の中で生きる人として、社会と個人の相互作用の中で大切となるものが価値を置くべきだと考へていい。

問五

問四

問三

問二

問

国語解答用紙 (全二枚) その一

学部名
() 学部
受験番号

氏名

集計点

--	--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

日本に亡命した当初は困窮し、自分の生活を支えることもできなかつた。
もしこの三千余りの金を、中国で使用するならば、百倍の価値になるでしょう。²⁰

日本に亡命した当初は困窮し、自分の生活を支えることもできなかつた。
ことごとくこれをみのこないにをさむ。^(お)

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

日本に亡命した当初は困窮し、自分の生活を支えることもできなかつた。
ことごとくこれをみのこないにをさむ。^(お)

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

日本に亡命した当初は困窮し、自分の生活を支えることもできなかつた。
ことごとくこれをみのこないにをさむ。^(お)

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

日本に亡命した当初は困窮し、自分の生活を支えることもできなかつた。
ことごとくこれをみのこないにをさむ。^(お)

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

三

問一

ア つ(ひ)に イ かつて

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

問二

問三

問四

二

問一

B 伊勢はすぐに太秦を退出した。
C 丁重に申しあげますので、
D 伊勢を大切に扱うナまはこの上ない。

この世の中で貧乏苦のために生きていくのがつらいのも、病気のかかってつらいのも同じ病なのです。伊勢が気分が悪くなり人のいない古堂に入り仏を拝もうとしたところ、立派な人が入ってきて、仏のお告げにより、自分の住んでいる所へ一緒に来てほしいと頼まれたこと。

容貌が上品で美しく、氣立てがすばら一いよいよ女性がいたらなあ。

問二

問三

問四

一

問一

ア つ(ひ)に イ かつて

明朝滅亡後、日本に亡命し、苦労と重ね好遇を得ても僕約しながら明朝復興のための拳銃に貰やす資金を蓄えたのに、その時機到来を待たずして亡くなってしまったから。¹⁰

問二

問三

問四